

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2018-514179 (P2018-514179A)

【公表日】平成 30 年 5 月 31 日 (2018.5.31)

【年通号数】公開・登録公報 2018-020

【出願番号】特願 2017-552133 (P2017-552133)

【国際特許分類】

H 0 2 J 50/60 (2016.01)

H 0 2 J 50/12 (2016.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 2 J 50/80 (2016.01)

【F I】

H 0 2 J 50/60

H 0 2 J 50/12

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 2 J 50/80

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 20 日 (2019.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

充電電力をワイヤレスに伝達するための装置であって、
コイルにおいて、時変電流によって駆動されたときにワイヤレス場を生成するための手段と、

前記生成するための手段が前記ワイヤレス場を生成する間、前記生成するための手段と
接地との間の寄生キャパシタンスを判定するための手段と、

前記判定された寄生キャパシタンスが検出基準を満たすことに応答して外来物の存在を
判定するための手段と
を備える装置。

【請求項 2】

前記コイルが、前記時変電流によって駆動されることに応答して前記ワイヤレス場を生
成するように構成され、

寄生キャパシタンスを判定するための前記手段が、前記コイルが前記ワイヤレス場を生
成する間、前記コイルと接地との間の前記寄生キャパシタンスを判定するように構成され
た測定回路を含み、

外来物の存在を判定するための前記手段が、前記判定された寄生キャパシタンスが前記
検出基準を満たすことに応答して外来物の前記存在を判定するように構成されたコントロ
ー回路を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記検出基準は、前記外来物の存在に対応するようにあらかじめ定められた前記判定さ
れた寄生キャパシタンスの時変パターンを含む、請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項に記載の装
置。

【請求項 4】

前記検出基準は、前記判定された寄生キャパシタンスのしきい値変化を含む、請求項1又は2のいずれか1項に記載の装置。

【請求項5】

前記コントローラ回路は、前記外来物の前記存在を判定したことに応答して前記コイルを駆動する前記時変電流を調整するように構成される、請求項2に記載の装置。

【請求項6】

前記測定回路は、複数の時刻の各々において前記寄生キャパシタンスを判定するように構成され、

前記コントローラ回路は、所定の関係を満たす前記複数の時刻の各々における前記判定された寄生キャパシタンスの相関に応答して前記外来物の前記存在を判定するように構成される、請求項2に記載の装置。

【請求項7】

充電可能なデバイスから信号を受信するように構成された通信回路であって、前記信号がワイヤレス充電に関する前記充電可能なデバイスの存在を示す、通信回路をさらに備え、

前記コントローラ回路は、前記通信回路が前記充電可能なデバイスから前記信号を受信したことに応答して前記コイルの少なくとも1つの動作パラメータを調整するように構成される、請求項2に記載の装置。

【請求項8】

前記外来物は、人間、別の生物、または非金属物体を含む、請求項1又は2のいずれか1項に記載の装置。

【請求項9】

前記コイルは、前記ワイヤレス場の磁場成分を介して前記充電電力を充電可能なデバイスにワイヤレスに伝達するようにさらに構成される、請求項1又は2のいずれか1項に記載の装置。

【請求項10】

充電電力をワイヤレスに伝達するための方法であって、

コイルにおいて、時変電流によって駆動されたときにワイヤレス場を生成するステップと、

前記コイルが前記ワイヤレス場を生成する間、前記コイルと接地との間の寄生キャパシタンスを判定するステップと、

前記判定された寄生キャパシタンスが検出基準を満たすことに応答して外来物の存在を判定するステップとを含む方法。

【請求項11】

前記検出基準は、前記外来物の存在に対応するようにあらかじめ定められた前記判定された寄生キャパシタンスの時変パターンを含む、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記検出基準は、前記外来物の存在に対応するようにあらかじめ定められた前記判定された寄生キャパシタンスのしきい値変化を含む、請求項10に記載の方法。

【請求項13】

前記外来物の前記存在を判定したことに応答して前記コイルを駆動する前記時変電流を調整するステップをさらに含む、請求項10に記載の方法。

【請求項14】

複数の時刻の各々において前記寄生キャパシタンスを判定するステップと、

所定の関係を満たす前記複数の時刻の各々における前記判定された寄生キャパシタンスの相関に応答して前記外来物の前記存在を判定するステップとをさらに含む、請求項10に記載の方法。

【請求項15】

充電可能なデバイスから信号を受信するステップであって、前記信号が、ワイヤレス充

電に関して前記充電可能なデバイスの存在を示す、ステップと、

前記充電可能なデバイスから前記信号を受信したことに応答して前記コイルの少なくとも1つの動作パラメータを調整するステップと
をさらに含む、請求項10に記載の方法。